

胸を張って歩もう ―卒業生の皆さんへ

挨拶：奈良県立大学同窓会 会長 久保 憲司



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

昭和28年に開学された本学は、今年度、創立60周年を迎えました。この意義ある節目の年に、名実ともに同窓会員としてお迎えする皆さんに衷心よりお慶びを申し上げます。

本学は、夜間短大から幾度もの変遷をたどりながらも、一貫して「公立大学」として運営されてきましたが、いよいよ平成27年度大学法人化へ向けてかつてない大きな変貌を遂げようとしております。同窓会活動も単なる「会員管理」と「思い出の共有」の域を出て、在学生に対する学外研修や講演、地域ボランティアなど積極的に大学支援にその軸足を移し、法人化後の役割をしっかりと見据えていかなければなりません。この度、同窓会愛称も「ふなはし」と命名され、まさに「新卒」の気分で胸を張って歩んで参りたいと考えております。

卒業生の皆さんのご活躍に大いに期待致しますとともに、会員の皆さまの一層のご指導ご支援を切にお願い申し上げます。

平成25年度同窓会総会開催

報告：奈良県立大学同窓会 副会長 高島 邦子

平成25年10月6日(日)10時から11時まで、奈良県立大学3号館多目的ホールにおいて平成25年の同窓会総会が開催された。

伊藤学長をご来賓に迎え、短大卒60名、商大卒14名、県大卒4名、役員13名、在学生24名の総数115名が出席された。在学生は入学時に同窓会会員になることから、総会に関心を持ち出席されたことは歓迎すべきことであった。司会の鎌田理事が進行を務め、開会宣言がなされて、久保会長から挨拶があった。伊藤学長から、「今後も大学の規模は従来の1学年150名、学生総数600名であり、共に学び、コメを育てるように手塩にかけて大事に学生を育てていきたい。奈良県民に認知され、卒業生に愛されるように、大学の質を向上させていきたい」という祝辞を頂いた。

議長に三代理事が選出され、第1号から第7号議案が審議された。まず、平成22年度から24年度までについて、久保会長が活動報告を、高島が決算報告を、曲渕理事が監査報告を行なった。活動報告の主な内容として、平成23年2月から「会報」が創刊され、同時に同窓会および会報の愛称募集を行なったことや、平成23年10月に初めて「ホームカミングディ」を実施して退職者を含む教員と同窓生が旧交を温めたことであった。他大学でも実施されている「ホームカミングディ」は、第1回の参加者は40名と少数であったが、和やかな雰囲気でも好評だったため、総会のない年は毎年実施することに決定された。前回までの決算報告は3年分をまとめていたが、予算編成を分割して今回から、平成22年度、23年度、24年度と各年度の分を作成した。時間の制約の関係上、22年度から24年度の3年分について報告された。ここまでの第1号、第2号、第3号議案が出席者の賛成多数で承認された。

続いて、平成25年度から27年度までについて、久保会長が新役員選出を、中村副会長が活動計画案を、高島が予算案を、久保会長が会則の改正案を提案した。26年度からの新しい活動として「就活支援講演会」、「学生会執行委員会交流会」、「地域ボランティアに参加」の3項目と、会報の紙面を充実させて年1回発行へ変更することが提案された。それぞれの活動について予算に反映された。その他、役員の交通費が予算化された。会則の改正点は、副会長を2名にすること、役員の異動を3年ごとの総会を待たずに役員会で承認されることである。第4号、第5号、第6号、第7号議案についても、出席者の賛成多数で承認された。

最後に、三代議長から同窓会および会報の愛称が「ふなはし」に決定したことが報告された。鎌田理事の閉会宣言により、すべての議案が承認された総会を滞りなく終了した。引き続き、記念撮影が行われ、同じ会場で奈良県立大学創立60周年の祝賀会が、荒井知事のご臨席のもと、盛大に執り行われた。



大学創立60周年記念式典 祝賀会 開催報告

60周年を節目に新たな出発

2013年10月6日に、県立大学創立60周年を記念し当大学三号館にて、同窓会ならびに大学後援会の共催で記念祝賀会を開催いたしました。



◇夜間短大から個性豊かな地域大学へ◇

当日は現役大学生もスタッフとしてご参加いただき、荒井正吾奈良県知事、野村政樹地域振興部長、伊藤忠通学長、神木哲男元学長、伊藤孝治・小西一正両名誉教授、ほか多数のご来賓を迎えて会員130余名の出席のもと、**第一部はパネルディスカッション、第二部は懇親パーティー**と大いに盛り上がりました。

パネルディスカッションでは「県立大学の変遷と公立大学法人化後の展望」と題して、伊藤忠通現学長、神木哲男元学長ならびに現役学生を代表して安田海学生会執行委員長をパネラーに久保同窓会長の司会で討論が行われました。

神木先生からは、当時学長として尽力され、2001年の地域創造学部開学が今日の学校法人化へ向けた起点となったとのお話がありました。

さらに、伊藤先生からは平成27年度大学校法人化に向けた様々な課題を解決しつつ、とりわけ現船橋町での整備決定までの真剣な議論・検討の経緯、観光立県の奈良における地域創造の意義と大学の役割が説明され、今後ゼミナールに軸足を置いた全国でもまれにみる個性的大学への発展と展望が示されました。

また、現役学生の安田委員長からは、学生生活の向上をテーマに大学当局との調整役を担っている。アンケート調査結果では、海外留学制度の充実とゼミナールの強化に加え、東京オリンピックに向けた観光を柱とするさらに踏み込んだ授業に期待が寄せられました。



最後に、平成27年度からの奈良県立大学の法人化に向けて、大学当局・現役学生諸君、そして私ども同窓会が連携し合いながら、母校発展に尽くしていくことを確認してパネルディスカッションを終了しました。



祝賀会懇親会の様子



祝賀会 乾杯の挨拶

◇独自性を磨き魅力ある大学に…荒井知事◇



来賓の祝辞：荒井正吾奈良県知事

祝賀パーティーは、山方文代後援会長の挨拶で開会し、後援会活動の一端（今年はテント寄贈）が併せて報告されました。

ご来賓の荒井正吾奈良県知事様からは、大学を学習ゾーンと地域交流ゾーンに分け、地域との交流に力点を置く考えが披露されました。

また、地域交流棟が26年度中に完成予定であることや、法人理事長に政治学者で国際大学学長の北岡伸一氏、客員教授に元ASEAN事務総長のスリン・ピッサワン氏、名誉学長に元韓国文化相の李・御寧（イ・オリョン）氏などが就任予定であることなど、大学の法人化に向けた知事の熱い思いが語られ、出席者から大きな拍手が送られました。

続いて、当日参加者のうち最高齢者で短大1期生の木村由一さんのご発声で祝宴に入り、130名の参加者から、「参加し

てよかった」「今後もイベントがあればぜひ出席したい」とのご感想をいただく中、成功裡に終了しました。



一期生 木村由一さん



60周年祝賀会 記念撮影

ご出席頂きましたご来賓ならびに卒業生の皆様、準備から当日まで協力頂きました関係各位ならびに現役学生の皆様に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

奈良県立大学同窓会役員スタッフ 一同

同日、同窓会総会にて愛称募集の最終投票を行い、厳正に審査した結果「ふなはし」に決定したことをご報告申し上げます。

<得票数内訳>

平成23年のアンケート、平成24年のホームカミングディ、平成25年総会の3回の投票結果は、「ふなはし」69票、「あおによし県大」32票、「まほろば県大」29票、合計130票。

投票頂きました会員の皆様には、改めてお礼申し上げます。

ふなはし
同窓会愛称 決定！

第48回秋華祭『～らっしやいらっ48い！秋華一ニバル～』が、2013年11月3日(日)に奈良県立大学にて開催されました。

今回の秋華祭も昨年同様、吉本芸人のライブや船橋商店街の方々とお餅つき大会等が開催され、会場全体が最後まで一体となり大盛り上がりとなりました。学生がゼミやクラブ・サークル単位で出店している模擬店も数多く出展され、地元の方々も来場し、年々大学の存在が地域に根付いてきていることを実感できる秋華祭となりました。



□ 同窓会と学生の新たな関係の創造 □

同窓会は、秋華祭を学生と直接関わることでできる数少ない機会であると捉え、毎年必ず模擬店を出店しています。

今年は、例年よりもさらに学生とのつながりを深化させようと考え、少し趣向を変えた出店方法を模索しました。学生の模擬店の売り上げアップや地元の方々が模擬店を利用したくなるような取組方法を検討した結果、抽選会を模擬店ブースにて開催することにしました。各模擬店に同窓会発行の抽選券を配布し、100円で1枚、5枚集めて1回の抽選を行えるようにし、各模擬店で抽選券の配布を行って頂きました。

抽選会の景品は、同窓会会長からの寄付で賄い、費用もそれほどかけずに済みました。

また、抽選会の趣旨説明を各模擬店一つずつ回り説明したことで、「同窓会が売り上げアップに協力してくれている」との感覚を、学生に持って頂けたと思いますかな？と感じています。

実際、抽選券を積極的に配布し、追加で抽選券を欲しいと言ってきてくれた模擬店があったり、地域の方で抽選券が1枚足りず、抽選を行いたいために追加で模擬店へ食べ物を買に行き下された方もおられました。

例年の模擬店形式からの変更が成功するか非常に不安でしたが、結果的には所期の目的は達成できたと思っています。

今回の取組が同窓会だけでなく、学生にも大学にも「成功した」と思って頂けるように、「**学生と大学のために積極的に考動する同窓会**」をこれからも創っていければと考えています。

事務局からのお知らせ

平成22-25年度までの同窓会活動内容、総会の報告、決議内容等は、下記同窓会 Webサイトにて詳細掲載しております。

Webサイト『奈良県立大学同窓会』で検索。<http://奈良県立大学同窓会.jp> E-mail : npu_dousoukai@yahoo.co.jp

編集後記

60周年記念祝賀会ならびに定例総会を無事に終え同窓会愛称も「ふなはし」に決まりました。大学に通り船橋商店街の小路は、舗装されて昔より綺麗になりましたが、今も奈良の古い街並みや風情をほんのり残しつつ、後輩たちを静かに迎え入れています。「ふなはし」に多くの支持が集まったのも、会員の皆様が現役学生であったころのそんな小路に思いを馳せたからかもしれませんね。

同窓会では現在も引き続き役員募集をしています。

今後、同窓会活動の各種事業実施に向けてお手伝い頂ける方の参加をお待ちしています。

▽応募資格 同窓会員(在学生も歓迎)で、やる気があり、時間の都合をつけられる方。

▽お申込先 直接役員の方、又はEメール npu_dousoukai@yahoo.co.jp までご連絡ください。